



平成 24 年 3 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 フ ァ ー ス ト エ ス コ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 島 崎 知 格
(コード番号:9514 東証マザーズ)
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 小 池 久 士
(TEL. 03-5299-8525)
URL. <http://www.fesco.co.jp/>

バークおよび震災瓦礫に関する取り組みについて

当社子会社の株式会社ファーストバイオスでは、福島県、福島県木材共同組合連合会および同県木材事業者等からの要請を受け、関連会社である株式会社白河ウッドパワー白河発電所にて東日本大震災によって発生した瓦礫類および県内で発生する樹皮(バーク)の受け入れを開始いたしました。

現在、福島県を始めとする東北 3 県においては、震災に起因する瓦礫類の処理が大きな課題となっております。特に福島県においては瓦礫類の放射線量が相対的に高いことから、これらの処理が滞っており、復旧復興の妨げとなっております。また、木材の製材過程で発生する樹皮(バーク)についても同様の理由から再利用、もしくは廃棄処分が進まず、野積み状態となっており、林業の阻害要因になりつつあります。このような状況から、当社に対し先の関係各所より、こうした材の燃料としての受け入れ要請があったため、地域復興に貢献することを目的として、一定の材の受け入れをすることと致しました。

当社グループでは、平成 18 年から木質バイオマス発電事業を開始し、初期には様々な困難から大きな事業損失を計上いたしましたが、近年ではこの事業に関するノウハウの蓄積から、収支を黒字化させることに成功致しました。木質燃料の中でも、安定燃焼させることが難しいバークにつきましても、一定量であれば安定燃焼させることが可能となり、こうした技術が評価されたものと理解しております。

昨年の震災から 1 年が経過し、いろいろな形で再生に向けた取り組みがスタートしております。当社グループも、バイオマス発電、省エネ支援などの側面から、復旧復興を全面的に支援してまいりたいと考えております。

なお、本件による当社グループの連結業績見通しに与える影響は軽微であります。

以 上

白河ウッドパワー



福島県のバーク集積場

